

愛知県立豊橋特別支援学校（肢体不自由）

1 学校概要

設置部・設置学科	小学部・中学部・高等部（普通科）・分教室（高等部のみ・知的障害）
特色ある取組 豊橋市にあり、校章はシンボルツリーの「松」をデザインしたものです。寄宿舎（現在閉舎中）を併置し、豊橋医療センター内に施設内教室を設置しています。各家庭を訪問して授業を行う訪問教育も行っています。また、県内の特別支援学校で唯一分教室（山嶺教室、潮風教室）があります。東三河地区で唯一の肢体不自由特別支援学校として地域の肢体不自由教育のセンター的役割を担っています。	
地域とのつながり・地域での役割 食に関する授業では、地域の食品業者の方と一緒にパン作りをしたり、ホテルのシェフを招いてテーブルマナーについて学んだりしています。各部では、地域の小、中、高等学校と学校間交流を行っています。分教室では、併設する高校と合同で行事を行って交流をしています。また、地域の役場や公共施設などの清掃、ボランティア等の社会貢献活動にも取り組んでいます。	
高等部卒業生の主な進路 ＜進学＞大学・短期大学、専門学校、職業訓練校 ＜一般就労＞一般企業 ＜福祉就労＞就労移行支援、就労継続支援、生活介護等	
一言アピール 「笑顔あふれる学校」を目指し、笑顔を大切にした教育に取り組んでいます。 児童生徒の実態に合わせてタブレット端末、視聴覚機器、視線入力機等のＩＣＴ機器を活用した授業を行っています。光遊びやリラクゼーションのためのスヌーズレンルームを設置しています。 スクールキャラクター「とよまつ」は、つながりのシンボルとして、児童生徒をはじめ関係の皆様に関わられています。	



2 スクール・ポリシー

このような幼児児童生徒の育成を目指します ○「主体的に学び、表現する子」「友道を尊重し助け合う子」「健康で安全な生活を意識する子」の育成を目指して、各部のつながりを意識しながら学びを進めます。 ○「高い専門性をもつ教師」「高い人権意識をもつ教師」「信頼される教師」を目指して、研修を充実し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに沿った創意工夫のある教育活動を通して、自立や社会参加するための基礎となる「生きる力」を育みます。
このように学びます ＜小学部＞ ・集団生活を通して、人と関わり主体的に学ぶ力を育てます。 ・基本的な生活習慣を身に付け、健康で安全な生活を送ることができるようにします。 ＜中学部＞ ・教科担任制や様々な学習グループでの活動を通して、人との関わりを広げます。 ・それぞれのニーズに応じた学習グループで一人一人の良さを伸ばします。 ＜高等部＞ ・これまで身に付けた知識・技能を活用する力の向上を目指します。 ・自分から人に関わろうとする気持ちや相手を尊重する気持ちを育てます。 ＜分教室＞ ・体験的な活動を通して学ぶ意欲を高め、生活する力と働く力を身に付けます。 ・自分と相手を大切にする気持ちをもち、苦手なことにも挑戦する態度を育てます。 ・運動をして体力をつけ、健康で安全な生活を送る力を養います。